

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年3月10日(2005.3.10)

【公表番号】特表2000-514453(P2000-514453A)

【公表日】平成12年10月31日(2000.10.31)

【出願番号】特願平10-505806

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 31/135

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

【F I】

A 6 1 K 31/135

A 6 1 P 25/16

A 6 1 P 25/28

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月1日(2004.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書



平成16年 6月 1日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第505806号

2. 補正をする者

氏名(名称) テバ・ファーマシューティカル・インダストリーズ・
リミテッド

(ほか1名)

3. 代理人

住所

〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 FAX 06-6949-0361

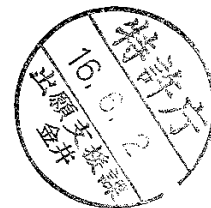
氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 明細書、請求の範囲

5. 補正対象項目名 明細書、請求の範囲

方 式 査
審 査

佐 藤

6. 補正の内容

(1) 明細書

1頁10行の「損傷をことを」を、「損傷を」と訂正する。

(2) 請求の範囲

別紙のとおり。

(別紙)

請 求 の 範 囲

1. 有効成分として治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩、および医薬的に許容できるキャリアーを含む、患者の神経学的異常または神経外傷の処置用の、または記憶改善用の医薬組成物。
2. S-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダン塩酸塩が存在する、請求の範囲第1項に記載の医薬組成物。
3. 経口、直腸、静脈内、経皮または非経口投与に適した、請求の範囲第1項または第2項に記載の医薬組成物。
4. 単回投与形態において該有効成分を約1mgから約1000mg含む、請求の範囲第1項ないし第3項のいずれか1項に記載の医薬組成物。
5. 該有効成分を約10mgから約100mg含む、請求の範囲第4項に記載の医薬組成物。
6. 有効成分として、S-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンの塩酸塩、メシレート、エシレートまたは硫酸塩を含む、請求の範囲第1項または第3項ないし第5項のいずれか1項に記載の医薬組成物。
7. 虚血性損傷、脳卒中、低酸素症または無酸素症、神経変性疾患、パーキンソン病、アルツハイマー病、神経毒傷害、頭部外傷傷害、脊髄外傷傷害またはその他の神経損傷形態の結果として中枢または末梢神経系に引き起こされる損傷を含む、神経学的異常または神経外傷を処置するための、請求の範囲第1項ないし第6項のいずれか1項に記載の医薬組成物。
8. 患者の記憶改善用の、請求の範囲第1項に記載の医薬組成物。
9. 患者の神経学的異常または神経外傷の処置用の、または記憶改善用の医薬として使用するためのS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンおよびその医薬的に許容できる塩の使用。
10. 該医薬が経口、直腸、静脈内、経皮または非経口投与に適したものである、請求の範囲第9項に記載の使用のためのS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンの使用。

11. 該医薬が約1mgから約100mgの投薬量で投与されるものである、請求の範囲第9項に記載の使用のためのS-(+)-N-プロパルギル-1-アミノインダンの使用。

12. 投薬量が約10mgから約100mgである、請求の範囲第11項に記載の使用。

13. S-(+)-N-プロパルギル-1-アミノインダンの塩酸塩、メシレート、エシレートまたは硫酸塩が使用される、請求の範囲第9項に記載の使用。

14. 該医薬が、虚血性損傷、脳卒中、低酸素症または無酸素症、神経変性疾患、パーキンソン病、アルツハイマー病、神経毒傷害、頭部外傷傷害、脊髄外傷傷害またはその他の神経損傷形態の結果として中枢または末梢神経系に引き起こされる損傷を含む、神経学的異常または神経外傷を処置するためのものである、請求の範囲第9項に記載の使用。

15. 該医薬が患者の記憶を改善するためのものである、請求の範囲第9項に記載の使用。

16. 神経学的異常または神経外傷の処置用医薬の製造における、S-(+)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩の使用。

17. 該医薬が経口、直腸、静脈内、経皮または非経口投与に適したものである、請求の範囲第16項に記載の使用。

18. 該医薬がS-(+)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその塩を約1mgから約1000mgの投薬量で含む、請求の範囲第16項に記載の使用。

19. 投薬量が約10mgから約100mgである、請求の範囲第18項に記載の使用。

20. S-(+)-N-プロパルギル-1-アミノインダンの塩酸塩、メシレート、エシレートまたは硫酸塩の請求の範囲第16項に記載の使用。

21. 神経学的異常または神経外傷が、虚血性損傷、脳卒中、低酸素症または無酸素症、神経変性疾患、パーキンソン病、アルツハイマー病、神経毒傷害、頭部外傷傷害、脊髄外傷傷害またはその他の神経損傷形態の結果として中枢または末梢神経系に引き起こされる損傷を含むものである、請求の範囲第16項に記載の使用。

22. 患者の記憶改善用医薬の製造における、有効成分としてのS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩の使用。

23. 患者に治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩を投与することを含む、神経外傷罹病患者の処置法。

24. 患者に治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩を投与することを含む、神経変性疾患罹病患者の処置法。

25. 患者に治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩を投与することを含む、神経毒傷害に罹病している患者の処置法。

26. 患者に治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩を投与することを含む、脳虚血に罹病している患者の処置法。

27. 患者に治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩を投与することを含む、脳卒中に罹病している患者の処置法。

28. 患者に治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩を投与することを含む、低酸素症または無酸素症の症状発現後の神経傷害に罹病している患者の処置法。

29. 患者に治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩を投与することを含む、頭部外傷傷害に罹病している患者の処置法。

30. 患者に治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩を投与することを含む、脊髄外傷傷害に罹病している患者の処置法。

31. 患者に治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩を投与することを含む、患者の神経死を防ぐ方法。

32. 患者に治療上有効量のS-($-$)-N-プロパルギル-1-アミノインダンまたはその医薬的に許容できる塩を投与することを含む、記憶障害に罹病している患者の処置法。